

茨城県北茨城市
地域おこし協力隊募集

来たれ！ 芸術家

ピエロに託してメルヘンを
描く画家 飯塚六郎

三大童謡詩人の一人
野口雨情のふるさと磯原

日本近代美術の祖 岡倉天心が
「日本美術院」を置いた五浦

江戸時代からの歴史を誇る
陶器 五浦天心焼

ミュージシャン、芸術家、映画監督。
マルチな才能を見せる石井竜也

動感あふれる造形性
彫刻家 蛭田二郎

数々の芸術家が愛し、芸術家を輩出した北茨城市。

廃校を活用したアトリエで創作活動をしながら、
芸術によるまちづくりをプロデュースしてみませんか？



北茨城市では、岡倉天心が日本美術院を置いた景勝地「五浦」、三大童謡詩人の一人である野口雨情、江戸時代から続く伝統的な陶器「五浦天心焼」など、本市が有する芸術的な風土・資源を生かして、「芸術によるまちづくり」を推進しています。

その担い手として、廃校を活用して整備したアトリエで創作活動をしながら、芸術によるまちづくりをプロデュースしてくれる芸術家を「地域おこし協力隊」として募集します。

地域おこし協力隊 って何？

地方公共団体が、都市地域から地方へ移住し、地域おこしや住民生活の支援など地域協力活動を行ってくれる方を「地域おこし協力隊員」として委嘱し、その地域への定住・定着を図る取組みです。

JOIN ニッポン移住・交流ナビ
<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/>

北茨城市って どんなところ？

茨城県の北東端に位置し、東京から約180kmにあります。東は太平洋に面し、西は多賀山地が広がり、気候が穏やかで風光明媚な地です。岡倉天心が日本美術院を置いた五浦を有し、野口雨情を輩出するなど、芸術的な風土・資源も有しています。



五浦天心焼って どんなもの？

北茨城産の蛙目（がいろめ）粘土と軟質粘土を利用して制作される陶器で、本市の五浦に日本美術院を設立した岡倉天心にちなんで「五浦天心焼」と名づけられました。その独特な風合いに高い評価をいただき、平成23年には、茨城県郷土工芸品に指定されました。



活動拠点となる アトリエ

平成28年9月17日から11月20日まで、茨城県北芸術祭の会場となり、各教室に様々な作家による作品が展示されました。
(写真は、日比野克彦氏による作品「HIBINO HOSPITAL (日比野美術研究室附属病院放送部)」です。)

山々に囲まれ、のどかに広がる田園風景。

市の北西部に位置する関本町富士ヶ丘。

そこに、ひっそりとたたずむ旧 北茨城市立富士ヶ丘小学校。

廃校となったこの学校を、アトリエとして整備します。

絵画、彫刻、写真、音楽— 芸術の分野は問いませんが、

特に、市の特産品である五浦天心焼の普及を図るため、

陶芸の設備を備えます。

募集要項

1 業務概要

主に創作活動を行い、創作した作品によってアートイベント等の企画・運営を行うアーティスト枠と、アーティストと市民との交流促進や活動拠点施設の維持管理等を行うコーディネーター枠があります。

2 募集人数

- (1) アーティスト枠 2名
- (2) コーディネーター枠 1名

3 待遇・福利厚生

- (1) 報償 月額150,000円
- (2) 住居の貸与
- (3) 活動に必要な車両の貸与 (ガソリン代は自己負担)
- (4) 損害保険、賠償保険加入 (保険料は、市が負担)
- (5) 活動に必要な費用の支給 (月額50,000円まで)
- (5) 本業務に支障がない範囲で副業可

※ 面接時の北茨城市までの交通費、引越し費用、活動期間中の国民健康保険料、年金保険料、提供された住居の光熱水費、電話等通信費、生活費及び生活に必要なものは自己負担となります。

4 応募方法

- (1) 応募方法 下記ホームページをご覧ください。
 - (2) 締め切り 平成28年12月22日 (木)
 - (3) 問い合わせ
〒319-1592 茨城県北茨城市磯原町磯原1630
市長公室企画政策課 地域おこし協力隊担当
FAX: 0293-42-7308
メール: kikaku@city.kitaibaraki.lg.jp
- ※ 電話での質問は受け付けませんので御了承ください。

詳しくは、北茨城市ホームページをご覧ください。
<http://www.city.kitaibaraki.lg.jp/>

